

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



Q 活動内容を教えてください
遠野がホップの一大産地ということや遠野の魅力を全国・世界の人たちに伝え、遠野のホップやビールを通じて「日本のビアカルチャーをもっと面白く!」するため、BEER EXPERIENCE社が「ビアツーリズムガイド」として活動しました。2019年には年間約

「日本のビアカルチャーをもっと面白く! Let's Hopping!」

美浦 純子 隊員 愛知県名古屋出身・37歳
(2018年6月着任、本年5月末まで)

800人をガイド。市民の皆さまに協力いただき、他の街では体験できないツーリズムができました。ツアー参加者から「また絶対遠野に来たい!」と言っていただけける機会がたくさんありました。



1_ホップ畑や街中をガイド 2_コロナ前に開催したホップ畑でビアツーリズム 3_昨年、BrewNote遠野(中央通り)で開催したオンライン遠野ビアツーリズムに参加

Q 今後の目標を教えてください
ビアツーリズムに限らずガイドとしての視野を広げ、「コロナ禍でもできる形で遠野の魅力や名産品を発信し、「コロナ終息後にはファンの皆さまが遠野に足を運んでいただけるよう準備しています。協力隊卒業後も遠野を拠点に他地域の人たちと交流して、遠野や遠野のビールファンづくりをしながら「日本のビアカルチャーをもっと面白く!」していきたいです。

移住し、挑戦中! 美浦さんのプロジェクト「ゴールの里構想」(ビアツーリズムガイド)

を中止しています。昨年は、パソコンや携帯電話の画面越しに参加できる「オンライン遠野ビアツーリズム」を開催したところ、想像以上に好評でした。いまだ続く「コロナ禍で、コロナ前と同じツアーが難しい状況です。ファンの皆さまにどのように楽しんでいただけるのか、新たなファンをどのようにして作るのかを考えていかなければならないと感じています。

宮本隊員 **つくる大学**
宮本拓海隊員が運営に携わっている「つくる大学」は令和2年度、内閣府の関係人口創出・拡大のための提案型モデルの採択を受け、社会変化により新たに必要となった知識やスキルを互いに学ぶ場の創出に取り組んでいます。

講座やイベント開催中!
詳しくは、つくる大学ホームページ(左記QRコード読み取り)
つくる大学運営事務局
Mail → tsukuru-univ@nextcommons.co.jp
HP → https://note.com/tsukuru_univ

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。本コーナーでは、市の「市史編さん事業」で分かった遠野の歴史文化や、遠野遺産などについて紹介します。



伊能嘉矩が大正時代のできごとを記録した『遠野重要事誌梗概』

『遠野重要事誌梗概』は、伊能嘉矩が記した明治45(1912)年から大正14(1925)年までの記録集。さまざまな行事や災害のほか疫病についても記録されており、中でも興味深いのはスペインかぜの記録です。
スペインかぜはA型インフルエンザウイルスによる感染症で、大正7(1918)年から大正9(1920)年にかけて大流行。世界で約6億人が感染し、2千万から4千万人が死亡したとされています。日本でも大正7年8月から流行が始まり、11月には全国的に

『遠野重要事誌梗概』に見る大正時代の感染症の記録

大流行しました。『遠野重要事誌梗概』にも、11月になると遠野町での感染が広がったため、小中学校が12日間休校になったと記されています。大正8(1919)年に流行した際は、恋人の吉三郎恋しさの余り放火して処刑されたといわれる八百屋お七の霊の仕業との考えが広がりました。住民は、「うちに吉三郎はいません」という貼り紙をしたと記録されています。お七よけの貼り紙で、感染しないようおまじないをしたのでしょうか。
内務省衛生局(現厚生労働省)が大正9年に配布した札では、「人との距離をとる」「マスク」「うがい」などを予防手段として推奨。当時から現代と変わらない予防法が確立されていたようです。



大正時代に政府が配布した感染予防の札

お知らせ 新たな遠野遺産を募集しています

地域で守り伝えてきた宝物を未来に伝えるため、遠野遺産に推薦しませんか。詳しくは、問い合わせください。

遠野遺産保護事例
宮守町下鱒沢にある愛宕神社(遠野遺産第127号)の鳥居が老朽化と台風の影響で倒壊。地域住民が「みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金」を活用して、古い鳥居の撤去と新しい鳥居の設置を行いました。



倒壊した愛宕神社の鳥居を更新する地域住民

- 対象 有形(建造物、名所、旧跡)、無形(風習、民俗芸能、伝統技術、食文化)、自然(植物や地形など)およびそれらを複合した遠野らしい遺産で、市民の手で保護・活用されるもの
- 応募資格 主に市内在住者で構成される、地域づくりに関する団体
- 応募方法 所定の推薦書に写真などの資料を添付し、最寄りの地区センターに提出
- 締め切り 7月30日(金)